平成22年度に実施した事務事業の評価

番号	2024	事務事業名	政治倫理審査会	所管課	総務課

総合計画体系（後期）			
	部	0	行財政
	章	1	効果的・効率的な行政経営の推進
	節（施策）	1	市民のための行政サービスの充実

【将来像】

節（施策）の目的です。後期基本計画の施策の将来像を確認し、転記してください。

市民がのぞむ行政サービスが提供されています

【事業の内容】

誰・何に対して、どんな手段を実施していますか（しますか）？

市長、副市長、教育委員会の委員、監査委員及び農業委員会の委員並びに市議会の議員が、さらに倫理性を高めることにより、不正行為等を未然に防止し、公正で開かれた民主的な市政の発展を目指すために、宗像市政治倫理条例が制定された。審査会は条例に基づく調査等を行う。

事業費（単位：千円）		21年度決算	22年度決算	23年度予算
事業費合計		0	0	0
財源内訳	国・県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源			
財源名	国・県支出金			
	地方債			
	その他			

【事業の効果】

誰・何がどのような状態になることを目指していますか？

条例に基づく調査を求められたときは、速やかに調査を行い、その結果及び意見を記載した調査報告書を作成し、市長に提出する。

指標名（成果指標）	説明・算定式	単位	実績の推移			22年度		目標値			
			19年度	20年度	21年度	目標	実績	23年度	24年度	25年度	26年度
決定件数	決定件数／調査件数	%	―	―	―	100	―				

平成22年度に実施した事務事業の評価

22年度 実施計画	調査を求められた場合には速やかに対応し、円滑に審査会運営を行う。
実施結果	実績となる数字も入れて、分かりやすく 平成22年度は調査の請求はなかった。

【一次評価(担当課から)】

必要性の評価	評価	その評価をした理由
市民のニーズはどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	1	市民等が、政治倫理条例に基づき調査を求めたときに、中立・公正な立場で行う審査の重要性は高い。
民間、国、県、市が行う他の事務事業と 事業の目的や成果が重複していませんか？ 1　重複していない　2　一部重複している　3　重複している	1	政治倫理条例に規定する調査の請求に基づく審査業務については、他の事務事業の目的等と重複しているものはない。
有効性の評価	**評価**	**その評価をした理由**
目的に対しての成果はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　落ち込んでいる	2	平成22年度調査の請求はなかった。
市民参画協働の推進や、 社会情勢の変化などに対応できていますか？ 1　対応できている　2　対応の必要がない　3　対応できていない	1	専門性や中立公正な委員構成とするため、弁護士等の知識経験を有する委員の他、知識経験のある市民代表委員を選任している。
効率性の評価	**評価**	**その評価をした理由**
コスト効率はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	2	市民等からの異議申し立てがあったときに、審査会を開催し日額報酬（他に費用弁償支給）となっている。
公平性の評価	**評価**	**その評価をした理由**
特定の受益者に偏っていませんか？ 1　偏っていない　2　法律や条例でやむを得ず偏っている 3　偏っている	1	中立公正な委員構成となっている。

総合評価と今後の方針			具体的な改善策
内容	完了	H23年度に政治倫理事業に統合	
予算	完了		

【平成24年度に向けての二次評価(最終評価)】

理由及び検討事項		
内容	完了	本事業は完了とするが、今後は引き続き資産等報告審査会とあわせた政治倫理事業に統合させて事務事業を行うものとする。
予算	完了	